

# 史上最飛

LDA世界ドラコン選手権  
日本大会優勝シャフト

## 2009 RE/MAX World Long Drive Championshipで 元LDA世界チャンピオンを凌駕

2009年10月29日 アメリカ ネバダ州メスキートで行われたドラコン世界大会  
2009 RE/MAX World Long Championship Group7 Round1で、クアレーザー  
SP6-4MAXを使用したLDA日本代表 西川博文選手がアゲンストの中、元  
世界チャンピオンを含む12名の選手中トップ、2位以下に15ヤード以上の  
大差をつける 360ヤードを記録。日本人として初の快挙を達成した。



MAX-TORIKAWA(西川 博文)選手

クアレーザー L-1 SP FLEX-4MAXを世界大会で使用  
最長飛距離 408ヤードを誇る国内ドラコントップ選手  
大阪府在住 ドラコンチーム LDTクアトロ総帥  
身長 178cm 体重 90kg ヘッドスピード 65m/s  
2009年 LDA 世界ドラコン選手権 日本大会 優勝

ドラコン参戦6年目にして、初の国内チャンピオンとなり  
クアレーザーと共に2009年のドラコン世界大会に出場。  
一回戦を日本人として初のトップ通過を果たし、元世界  
チャンピオン達を驚かせた、日本屈指のドラコン選手



4軸超高弾性カーボンシャフト  
クアレーザー  
**Qualazer**



**Associates**

株式会社 エルワンアソシエイツ 〒578-0953 東大阪市本庄2丁目6-16  
<http://www.L-1associ.co.jp> TEL 072-960-6077 FAX 072-960-6073

お問い合わせ・お買い求めは

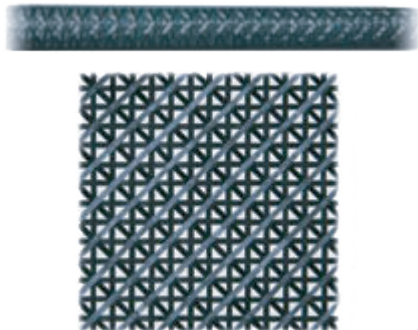


株式会社 エルワンアソシエイツ

## 4軸超高弾性カーボンシャフト

2008年初夏、数年前までドラコン競技用シャフトは、ほぼ輸入品でアメリカ人規格の重量・硬さが主流となっていました。国内大手シャフトメーカーの参入により日本人規格に合ったドラコン用シャフトが少量流通し始めた頃、(株)エルワンアソシエイツが、いち早く4軸超高弾性カーボンシャフトに着目し、ドラコン専用シャフトの設計・開発を開始しました。

4軸超高弾性カーボンシャフトの特長は、しなり・ねじれの反応バランスが良く、結果として打球が曲がりにくく、弾き感や粘り感に関しても、剛性が高く安定するため、打感も非常によくなります。



4軸超高弾性カーボンシート表面図

## 重量の問題

50トンカーボンで製造された4軸超高弾性カーボンシートは、高強度でドラコン競技には最適であると考えましたが、45インチ程度の長さで使用する場合には問題にならなかったシャフト重量が、ドラコン用長尺48インチで使用する場合には、従来の長尺シャフトより10g以上も重くなっていました。

## クレーザー誕生

そこで、シャフト全体の重量バランスや強度、フレックス特性等を徹底的に煮詰めながら軽量化に成功し、2008年10月クレーザーの初期ロットが完成しました。

## ドラコン選手達の驚き

関西のドラコンチーム LDTクアトロの選手達にクレーザーの初期ロットを、練習場で試打しながら、様々な評価を頂きました。

- ・ボール初速が格段に速い(実測値で3m/s～5m/s)
- ・サイドスピン量が、少ない(曲がりが少ない)
- ・打感がとても良い

試打で、ドラコン選手たちが驚いたのは、初速の速さ。ボール初速が見た目で違ふと感じられるのは、本来ヘッドスピードがアップした時のみ。シャフトが替わっただけで、大きな違いが出た事は、驚異的なことでした。350ヤード以上の飛距離を誇るドラコン選手達。飛距離を追及する彼らにとって、ボール初速アップが明白なシャフトを放っておくはずが無く、その場で、多数の選手がドラコン競技での使用を決定しました。

## 飛距離を求めるのは、ゴルファーの最大テーマ

2008年～2009年のドラコンシーズンには、関西を中心に50名程度のドラコン選手に、クレーザーを使用して頂きました。ドラコン競技の中で、様々な意見や改良点を選手からフィードバックし、飛距離と方向性が優れた製品なら、通常のゴルファーにも使えるシャフトが提供できるのではないかと考え、一般ゴルファー向けのスペックである フレックス 1MAX(X)～00MAX(S)を2009年5月にラインアップしたところ、大好評でした。

今回、00MAXだと少し硬く、もう少し柔らかいシャフトが欲しい！ という、ゴルファーのご要望にお答えし、**V MAX** をラインアップに加えしました。

(R)程度と表記していますが、4軸カーボンを使用したシャフトの特性で、剛性感があります。少し長尺の46インチでお使いいただければ、打ちやすく、飛距離と方向性を両立出来ると思います。

## シャフトスペック

品名	硬さ	重量	トルク	長さ	調子	対象 HS	Tip 径	But 径
L1-SP V II	R2	58g	4.4	47inch	中	35m/s～	8.50	15.5
L1-SP V MAX	R	60g	4.0	47inch	中	38m/s～	8.50	15.5
L1-SP 00MAX	S	63g	3.6	47inch	中	42m/s～	8.50	15.5
L1-SP 1MAX	X	66g	3.2	47inch	中	46m/s～	8.50	15.5
L1-SP 2MAX	XX	68g	3.0	47inch	中	50m/s～	8.50	15.5
L1-SP 3MAX	XXX	72g	2.8	47inch	中	54m/s～	8.50	15.7
L1-SP 4MAX	XXXX	74g	2.6	47inch	中	58m/s～	8.50	15.7

※トリミングは、バット側カットのみでお願いします。**チップカットは不可**です。  
※長尺設計です。46～47インチでお試ください。  
※45インチでのご使用は、1フレックス硬く感じる場合があります。

**V II**、**V MAX**は、幅広い一般ゴルファー向けです。今までドライバーを45インチでお使いの方は、是非46インチ以上の長尺をお試ください。少しゆっくりのタイミングで、スイングすれば簡単に飛距離アップすることが出来ます。また、組み上がり45インチで使用される場合は、通常のSシャフトに近い硬さになりますので、ヘッドスピード42m/s以上で、少し柔らかかめのSシャフトを、お考えのゴルファーには最適です。

**00MAX**は Sフレックスを目安に長尺46～47インチでのご使用を考慮して設計しています。今までSシャフトをお使いの方であれば、違和感無くご使用になれると思います。また、組み上がり45インチでご使用になる場合は、Xフレックスに近い硬さになる場合がありますが、ヘッドスピード45m/s前後のシングルプレーヤーには最適になります。販売店にてヘッド重量と組み上がりバランス等をご相談の上、ご使用下さい。

**1MAX**は、Xフレックスを目安にしています。46インチ以上でご使用の場合は、適度にしなり感もあり手強いXフレックスの印象は控えめです。ヘッドスピード46m/s以上の方や、アスリートゴルファーには最適です。

**2MAX**はドラコン選手競技用です。ヘッドスピードが50m/s以上あれば、長尺仕様の47インチ～48インチで、充分使える硬さとなっています。さらなる飛距離と方向性の両立を求めたい方に、お奨めのモデルです。

**3MAX**、**4MAX**はドラコン選手競技専用、48インチ長尺専用シャフトです。2009年のドラコン競技では数多くの好成績を残し、選手の信頼も厚く、まさに、飛んで曲がらないシャフトとなっています。

## 長尺化への自然な流れ

2008年1月以降施行された、反発係数0.83以上の高反発ヘッドに対する規制、460ccの容量規制、厳しいルールの中、どんなゴルファーでもドライバーに対する飛距離への欲求は、絶えることはありません。

**1ヤードでも遠くへ飛ばしたい！** 誰もが、そう思うはずです。

競技コースの改修により、距離が長くなったUSPGAの選手は、さらなる飛距離と方向性を求め、今まで45インチで使用していたドライバーを46インチ以上に長くする選手が、多くなっています。

当然の流れでしょう。ドライバーヘッドが規制された現在、クラブによって飛距離アップする方法はシャフトを延長し、46～48インチで使用するしか残されていないからです。

## 長尺化の注意点

ドライバーの長尺化にあたり、注意する点がいくつかあります。

① **従来のヘッドをそのまま使う場合は注意が必要です。**

長尺化に伴い、クラブの重量バランスが大きくなり過ぎると、重くて振り切れなくなるので、注意が必要です。45インチで使用していたヘッドをそのまま使用すると、バランスが大きく変わります。事前に販売店でドライバーヘッドの重量を測定し、重量バランスが大きく変わらないか、確認されることをお奨めします。

② **長尺シャフトは従来より剛性が必要です。**

クラブが長くなると、従来ご使用のフレックスではしなりが大きくなり、柔らかい感じがします。クレーザーは4軸超高弾性カーボンシャフトの特長を活かしシャフト全体の剛性が上がっていますので、従来と同じフレックスで、対応可能です。38m/sのヘッドスピードでも**V MAX**ですと47インチ程度にすれば、充分なしなりを感じる事が出来ます。同じ**V MAX**を45インチで組上げると、42m/sの方でも充分な剛性を感じることが出来ます。4軸超高弾性カーボンシャフトのメリットのひとつでもあります。

③ **ヘッドスピードが上がります。**

長い棒と短い棒を振ったとき、先端のスピードは長い棒の方が当然、速くなります。ただし、長過ぎると重くなるため、一番ヘッドスピードが出る長さを知ることが必要です。長尺化すれば従来より確実にヘッドスピードは上がるでしょう。もちろんミート率も大切ですが、飛距離アップにはヘッドスピードアップが、第一の要素です。

④ **飛びすぎに注意！**

長尺クラブに慣れてくると、ゴルフスイングも良くなっているはずですが。飛距離も今まで以上にあります。今まで越えなかったゴルフ練習場のネットを越えそうになったり、ラウンド中も届かないと思った、前の組に打ち込みそうになったり、飛距離アップが実感できれば、とてもうれしいことですが、飛距離が出る程に、責任も重くなりますので、充分に、ご注意ください。